

けれど、和歌のならひ、かやうのふることを用ひるも、又よのつねの事也、人あまねくしらす、みだりに是をとくべからず、

〔大和本草民六用草ス、キ〕芒 時珍曰、芒有二種、皆叢生、葉皆如茅而大、長四五尺、甚快利、傷人如鋒刃、七月抽

長莖、開白花成穗、如蘆葦花者、芒也、五月抽短莖、開花、如芒者、石芒也、今案本邦ニ所在モ亦時珍ガイ

ヘル如ク長短二種アリ、短者カヤト云、山野ニ遍ク生ズ、薪トシ屋ヲフク者是也、長キ者ヲス、キ

ト云、莖紅ナリ、秋花アリ、ウヘテ藩籬トシ、キリテ箔スダレトシ、壁代トシ、箸トシ、其莖穂ハ帚トス、長短並

ニ甚民用ニ利アル事、五穀麻棉ニツゲリ、屋上ノカヤフキノフルキト、カヤスダレノフルキモ、皆

功能アリ、ス、キニモ亦類多シ、鷹ノ羽ス、キ、葉ニ白文アリ、鷹ノ羽ノ文ノゴトシト、キハス、キ

アリ、冬ニ至テ葉不枯、歌ニ尾花トヨメルハ、秋ノ末ス、キノ穂ニ出タル、獸ノ尾ニ似タルヲ云、シ

ノス、キトハ、シノ、如ナルヲ云、ハタス、キトハ、旗ヲアゲタルヤウニ穂ニ出タル也、ホヤノス

スキトハ、ス、キノ穂ニテ作タル屋ナリ、十寸穂ホノス、キトハ、穂ノ長クシテ一尺バカリナルヲ

云、マスウノス、キトハ、眞蘇方ノス、キヲ略セリ、色赤キヲ云、糸ス、キハ、葉細ニシテ糸ノ如ク

ナルヲ云、右何レモ歌ニ詠ゼリ、

〔和漢三才圖會九十二末〕芒苳 芭茅 杜榮 芭茅 俗云尾花、又云須々木、俗作薄字、○中略

石芒折草一名 生高山如芒而節短、五月抽短莖、開花亦如芒花、

按苳俗用其花作穗而翻翻似物之尾、故俗呼名尾花、順和名抄引爾雅云、草聚生曰薄、新撰萬葉集和歌云、花薄

須波奈、此草以數莖叢生、竟以薄爲此草名、

鬼苳ラニス、キ 盤苳一 常 葉潤於常、夏冬不凋、快利、傷人手者也、

縵苳之末 須 葉有縱白文、如縵織者也、

鷹羽芒乃太加 波 葉有白彪、如鷹羽者也、